

2023年7月31日

名古屋市長 河村たかし様

相生山の四季を歩く会事務局 古川善嗣

ラブリーアース Japan 事務局 田中眞理

相生山のヒメボタルを守るための部署新設の提案

大都市名古屋の『自然遺産』ともいえる相生山緑地、そこに生息してきた準絶滅危惧種のヒメボタルの減少を心配しています。

私たちの14年にわたる「相生山の四季を歩く会」の活動は、ヒメボタルから始まり、植生、野鳥、昆虫、キノコ・菌類など観察対象を広げ、集う人びとの輪も広がってきました。

そうしたなかで生物多様性の実際を知り、さまざまなことを学ぶことができます。

たくさんの人びとから愛されている相生山のヒメボタル。しかし、その生態の現状調査および保全対策、地域住民生活と来訪者との整合、多岐にわたる啓蒙活動、などを統括して受け持つ部署はどこにもありません。

相生山の生態系の象徴種であるヒメボタルに着目し、環境破壊が今以上進まないよう、手だてを打つことが早急に求められています。

SDGsの主要な課題でもある「自然環境を大事にすることが人びとのより良い未来につながる」ことからしても、名古屋市として避けて通ることは出来ない事案と考えます。

2017年6月6日提出の「相生山の生態系を維持するための提案書」と、ことしの観察調査から得た「考察:相生山緑地のヒメボタルの消長について」を添えて提案します。

「(仮称)相生山のヒメボタルを守るための司令部」を市の縦割り組織を超えて、緑政土木局内に設置してください。

現地の自然と密に接してきた人びとの一員として、事態の緊急性を憂い、すみやかな対応を願うものです。よろしくお願いいたします。

以上